

**製品名: MRGX1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14090**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MRGPRX1
別名	MRGPRX1; MRGX1; SNSR3; SNSR4; Mas-related G-protein coupled receptor member X1; Sensory neuron-specific G-protein coupled receptor 3/4
遺伝子 ID	259249.0
SwissProt ID	Q96LB2
免疫原	抗血清はヒト MRGX1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

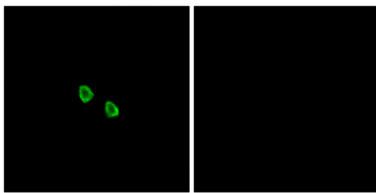
**背景**

機能: オーフアン受容体。おそらく侵害受容ニューロンの機能に関与している。疼痛の感覚や調節を含む、侵害受容機能および/ま

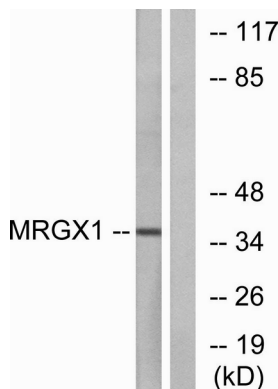
たは発達を制御する可能性がある。BAM22 (ウシ副腎髄質ペプチド 22) および BAM (8-22) などのエンケファリンによって強力に活性化される。BAM22 は最も強力な化合物であり、安定的にトランスフェクトされた細胞において、用量依存的に大量の細胞内カルシウム放出を誘発した。G( $\alpha$ )q タンパク質はカルシウムシグナル伝達経路に関与している。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。Mas サブファミリー。組織特異性: 小型の背根感覚ニューロンおよび三叉神経感覚ニューロンのサブセットに特異的に局在する。機能: オーファン受容体。おそらく侵害受容ニューロンの機能に関与している。疼痛の感覚や調節を含む、侵害受容機能および / または発達を制御する可能性がある。BAM22 (ウシ副腎髄質ペプチド 22) および BAM (8-22) などのエンケファリンによって強力に活性化されます。BAM22 は最も強力な化合物であり、安定的にトランスフェクトされた細胞において、用量依存的に大量の細胞内カルシウム放出を引き起こしました。G( $\alpha$ )q タンパク質はカルシウムシグナル伝達経路に関与しています。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。Mas サブファミリーに属します。組織特異性: 小型後根神経および三叉神経感覚ニューロンのサブセットに特異的に局在します。、

## 研究分野

## 画像データ



MRGX1 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



MRGX1 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。